

ZENSATO Monthly

全里マンスリー

2022年3月号 VOL.147

2022年3月10日(木) (公財) 全国里親会

◆河内会長からのメッセージ◆

ウクライナ被災の子どもたち家族について

全国里親会会員のみなさまにおかれましては、桃花早春の折、柔らかな陽射しが心地良い今日、益々里親活動にご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は全国里親会運営のためにご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

ロシアのプーチン大統領は本年2月21日、隣国ウクライナ東部の親ロシア地域の「独立」を一方向的に承認し、24日にはウクライナへの軍事侵攻に踏み切りました。現地では毎日のように軍事施設への攻撃に加えて、子どもを含む民間人にも多くの負傷者や死者が続出しています。胸が痛みます。

子どもたちに寄り添い、未来への歩みを支える活動を続けている私たち里親は、このように罪もない子どもたちの尊い命が数多く奪われていくことを容認できません。この事態を深く憂慮し、被害の拡大を防ぐため、対話と交渉による平和的解決が図られ、ウクライナに一刻も早く平穏な日常が回復することを心より強く望みます。そして各地でこの事態に心を痛め、反対の声を上げる多くの方々の心に寄り添いたいと思います。里親のみなさまの中には、ウクライナで起こっていることをどのように子どもに伝えるべきか、悩まれている方も多いかと存じます。また、日々映しだされる画像の影響を心配される方もいらっしゃるでしょう。どうぞ、お子さまに安心を与えてあげてください。話題を避けると、子どもたちは余計に恐怖を感じる、ということもあるようです。子どもたちがウクライナで起こっていることを心配していたら、多くの子どもが列車などで安全な他の国に移っていることや、残っている子どもも防空壕などを利用してミサイルの攻撃を避けていることを伝えてあげてください。さらに、日本で暮らす私たち家族にすぐに影響がある状況ではないことを伝えることも、子どもたちの安心につながるでしょう。一方、里親さん夫々に、想像を絶する軍事侵攻の映像を目の当たりにして遠く離れた戦争の被災地の悲惨な状況に憂えていらっしゃるのではないのでしょうか。可能でしたら、里親さん同士で気持ちを伝えあい、お互いに傾聴することで、癒しの機会をお持ちいただけたら幸いです。

皆様におかれましては、こどもたちを育む日々優しい心・温かい心・ふれあう心をつなぐことの大切さを、世の中安穏のために、こどもたちに、そしてあの人に、この人にお伝えされては如何でしょうか。公益財団法人全国里親会 会長 河内 美舟

◆全国里親会の活動◆

東日本大震災子ども救援基金について

全国里親会が「東日本大震災子ども救援基金」を設立してから11年目となりました。東日本大震災により親族里親となった方々を全国里親会では基金を通して継続的に支援しています。親族里親の方からは、「早いもので大震災より10年が過ぎ、皆様方の支援のおかげで今は普通に近い生活を送れるようになったと思っています。」「ご支援のおかげで子どもたちに様々な選択肢を提供することができました。」との感謝のお声を頂いています。

令和2年度事業報告/決算書類について

令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の事業報告/決算書類について内閣府(全国里親会の所轄)による審査が2月17日に完了し、承認された旨の通知を受けました。

同事業報告/決算書類については、昨年5月の内部監査、および理事会を経て6月6日に開催された定時評議員会にて承認され内閣府に提出しておりました。内閣府による審査に時間を要したのは、新型コロナウイルス感染防止のために在宅勤務など対応をされているためようです。

なお、例年内閣府の承認を得てからホームページに掲載している貸借対照表/正味財産増減計算書については、既に運営会社にデータを提出しており近日中にアップされる予定です。

全国里親会事務局から

●全国里親会に届いた情報については、いち早く会員の皆様のお手元にと随時メールにて各都道府県市の里親会事務局あてに発信するようにしています。情報が早く届くようになって助かっていますというお声がある一方、会員の皆様に情報を郵送でお届けしている里親会もまだまだ多く、どうしても情報伝達が遅くなってしまおうというお声もそれぞれの事務局の皆様からいただいています。

今後は全国里親会のホームページの随時更新をいたします。こちらのご活用も併せてよろしく願います。

●昨年7月よりアルバイトの方に事務補助員として週に1～2日事務局のお手伝いしてもらっています。新しい会計システムの導入にも対応して、より円滑な運営を目指します。

ご寄付・ありがとうございました

全里では2月に皆様方から136,500円、河内会長から1,000,000円、合計1,136,500円のご寄付を頂きました。大切に使用させていただきます。

令和4年度全国里親会主催の主な行事予定

- 第67回全国里親大会山梨大会
10月8日(土)9日(日) ハイブリット開催
- 第4回里親制度研修講座
10月28日(金)衆議院議員第1議員会館予定
- 令和4年度会長会議&研修会(上半期)
10月27日(木)28日(金)
衆議院議員第1会館予定
- 令和4年度会長会議&研修会(下半期)
令和5年1月28日(土)29日(日)
東京国際フォーラムガラス棟会議室予定
- 第4回 里母のつどい
令和5年2月11日(土)12日(日)千葉県柏市
- 北海道ブロック大会
9月4日予定 道北双葉里親会 オンライン開催
- 東北ブロック大会(福島県) 日程・会場未定
- 関東甲信越静岡ブロック大会(山梨県)
10月8日(土)9日(日)全国大会と同時開催
- 近畿ブロック大会(京都市)
6月19日(日)京都アスニー ハイブリット開催
- 東海北陸ブロック大会(愛知県)
6月25日(土)26日(日)
中部国際空港セントレアホール・ハイブリット開催
- 中国ブロック大会(島根県)
5月28日(土) オンライン開催
- 四国ブロック大会(愛媛県)
9月4日予定 愛媛県男女共同参画センター
- 九州ブロック大会(佐賀県)9月4日予定会場未定

◆イベント・研修◆

「特別養子縁組という家族のかたち」 動画配信

「特別養子縁組という家族のかたち」と題し、特別養子縁組について理解を深めるシンポジウム(厚労省)が2月5日にオンラインで開催されました。現在、動画配信されて無料で見ることができます。

<https://www.youtube.com/watch?v=-sMFCq2IdMs>

研修「里親家庭の実子の意識」養子と里親を考える会

里親家庭の実子について考えるオンライン研修

「里親家庭の実子の意識」が開催されます。

- 日程 2022年3月26日(土)
13時30分~16時30分オンライン
- 内容 1部 大妻女子大学 山本真知子氏
2部 実子当事者、山本真知子氏、林浩康氏(日本女子大学)によるパネルディスカッション
司会 野辺陽子氏(日本女子大学)
- 参加費 1000円(ただし会員無料)
- 申込 以下のHPより 締切3月25日(金)
<https://sites.google.com/site/kangaerukaisin>
<https://20220326foster.peatix.com/>
- 主催 養子と里親を考える会

◆厚生労働省関係◆

不妊・不育について理解を深める特設サイト

不妊や不育症について理解を深めるための特設サイトがオープンしました。不妊治療だけでなく、特別養子縁組などの紹介もしています。

「みんなで知ろう、不妊症・不育症のこと」(厚労省) <https://ninkatsu-hiroba.mhlw.go.jp/>

「すこやか親子21」HPリニューアル

妊娠・出産・子育て期の健康に関する情報を集めた「健やか親子21」(厚労省)のHPがリニューアルしました。「健やか親子21」とは、すべての子どもが健やかに育つ社会を目指し、関係するすべての人々、機関、団体が一体となって取り組む国民運動のことです。

<https://sukoyaka21.mhlw.go.jp/>

◆奨学金◆

キーエンス財団奨学金

四年制大学進学予定の新1年生向け奨学金です。

- ・内容 月額8万円×4年間
- ・対象 令和4年4月に四年制大学に進学予定で20歳以下の方 ・定員 500名程度
- ・他団体の奨学金との併用には制限あり。要確認。
- ・応募方法 以下のHPより応募
- ・締切:4月8日(金)午前10時(一次選考Web登録)
- ・問合せ&申請先 公益財団法人キーエンス財団
〒533-8555 大阪市東淀川区東中島1-3-14
(株)キーエンス内

<https://www.keyence-foundation.or.jp/>

※新2~4年生向けの奨学金もあります。

キーエンス財団奨学金「がんばれ!日本の大学生」で検索してみてください。

日本学生支援機構の奨学金(給付型)

日本学生支援機構の奨学金は、毎年4月頃に在学中の高校を通して申し込むことになっています。高校側が給付型を知らない場合もあるので、その場合は担任の先生に下記HPから情報提供しましょう。

●独立行政法人日本学生支援機構

<https://www.jasso.go.jp/index.html>

※大学等に進学後の方が申し込むこともできます。その際は在学中の大学等にお問い合わせください。